

【復興関連道路】(主)重茂半島線(仮称)大沢トンネル築造工事 安全祈願祭を開催しました！！

～ つなごう！復興のために 進もう！復興のその先へ ～

道路建設課

沿岸広域振興局土木部宮古土木センター

1 主要地方道重茂半島線で初めてとなるトンネル本体工事に本格着手

平成28年7月11日に開催された(仮称)大沢トンネル築造工事の安全祈願祭には、地元の山田町立大沢小学校の6年生児童の皆さんも参加していただきました。

児童代表の福士希さんからは、

「私が、保育園の年長組の春、東日本大震災が起こりました。このトンネルは、大沢に住む私達全員にとって命の道路です。安全に工事が進み、新しい大沢のまちが出来上がるのを楽しみにしています。」

という想いが発表されました。

式典の最後には、復興からの飛躍をイメージした「飛翔」の2文字が描かれた小旗を、児童の皆さんに元気よく振っていただきながら、児童の号令により、ドリルジャンボが起動し、トンネル掘削工事に本格着手しました。

安全祈願祭の様子



大沢小学校児童によるドリルジャンボ起動号令

2 (主)重茂半島線大沢～浜川目工区の事業概要

県では、岩手県東日本大震災津波復興計画に基づき、三陸沿岸地域の復興と安全・安心を確保し、災害に強く信頼性の高い道路ネットワークを構築することを目的として、三陸復興道路整備事業を実施しています。

三陸復興道路整備事業の「復興関連道路」に位置付けられている(主)重茂半島線については、県が重点的に整備を進めています。

このうち、下閉伊郡山田町で事業を進めている大沢～浜川目工区は、多重防災型まちづくり連携推進事業（まちづくり連携道路整備事業）として、山田町が施行する漁業集落防災機能強化事業や土地区画整理事業等の復興まちづくりと連携し、東日本大震災津波と同等の津波が発生した場合でも浸水しない道路を整備します。この道路が、高台に整備される3箇所の住宅団地（大沢第1住宅団地、大沢第2住宅団地、浜川目住宅団地）をつなぎ、災害時等における確実な緊急輸送や代替機能等を確保します。

3 大沢～浜川目工区 全線で工事に着手

県では、今年を「本格復興完遂年」と位置付け、本格復興をやり遂げ、次につながるよう強力に復興を押し進めることとしております。

本工区においても、起点側の大沢地区でトンネル工事を進めるほか、終点側の浜川目地区での道路改良工事も本格的に着手するなど、平成29年度の全線供用に向けて全力で事業を推進していきます。



事業概要図

